

北上市消防団及び北上市婦人消防協力隊連絡協議会と
北上市議会総務常任委員会との意見交換会 概要

- 開催日時 平成27年11月24日（火）
午後6時30分から午後7時30分まで
- 開催場所 ホテルシティプラザ北上
- 開催方法 ワークショップ形式による意見交換
- 出席者 北上市消防団（各分団から1名ずつ）13名
北上市婦人消防協力隊連絡協議会 2名
北上市議会総務常任委員会 7名

テーマ：①人数の充足状況や処遇等の課題について
②災害時の情報伝達について

消防団員の確保問題

- ・新入団員がなかなか見つからない。
- ・団員が増えない。
- ・自ら入団しようとする人はなかなかいない。
- ・参加人員が不足している。
- ・行事の時に人が集まらない。
- ・平日の昼間は団員が揃わずに出勤できない。
- ・仕事を抜けられないので、急な出勤依頼への対応が難しい。
- ・仕事に行っているため、日中の災害に対応する人員確保が難しい。
- ・地元から離れて通勤している人には難しい。
- ・3交代等の勤務で行事に参加できない。
- ・家族の反対で団員にならない人がいる。
- ・若い人達はスポーツ少年団のお世話とかがあるようで、なかなか参加してくれない。
- ・幽霊団員の存在。

負担の軽減を

- ・団員になると地区での役割を免除されるようにして負担の軽減を。
- ・消防団の行事が多すぎる。

- ・消防団OBの協力を得られるサポーター的なシステムを作る。
- ・OBが出動した場合の保証について心配がある。

- ・市役所の職員は進んで団員になってほしい。
- ・市職員の入団が望まれる。

処遇の改善を

- ・報酬を上げる。
- ・仕事を休んで参加することもある割には報酬が少ない。
- ・出勤手当が安い。
- ・団員の手当の見直しが必要。
- ・役員になる人が少なく、今後が心配。役員にも手当が必要。
- ・団員や家族への何かしらのメリットはないのか。
- ・団員に対するメリットを明確にする。消防団に入って良かったと思われるように。
- ・花巻市では、消防団員が市の施設を無料または半額で利用できる制度を行っているの、見習うべき。
- ・団員を増やすには、特典を受けられる団員特例を作ってはどうか。
- ・団員になってくれる人には割引券等あれば良い。
- ・団員の世帯にプレミアムチケットのようなものがあれば良い。
- ・割引を受けられるような団員証を作る。
- ・団員やその家族の税金が安くなれば。

職場の理解を

- ・消防団の活動や行事に出やすいような環境がほしい。
- ・職場の理解が得られないので活動しにくい。
- ・各事業所の対応のあり方が重要
- ・消防団に対する企業(得に大手)の理解がほしい。
- ・団員の職場に消防活動への理解が得られるよう市からの働きかけが必要。
- ・若い団員を増やすには、事業主や市役所の理解が必要で、出勤時は公休扱いに。
- ・企業も消防団員の社員を抱えていることで何かメリットがあれば良い。
- ・従事する企業に対する優遇策(税の減額など)が必要ではないか。

イメージアップを

- ・広報紙等で消防団をPRすることが必要。
- ・若年層への消防団のイメージアップ、PRが不足しているのでは。
- ・若い頃(学生時代を含む)から地域活動全般に参加しようという機運づくりが必要ではないか。
- ・イメージが悪いためか、女性団員が少ない。
- ・昔のような悪いイメージを持っている奥様方のイメージの改善が必要。
- ・いつも飲酒しているような消防団に対するイメージが悪い。



婦人消防協力隊の課題

- ・婦人消防協力隊は高齢化が進み、辞めたい団体が増えてきている。
- ・50～60代で交代できる人が少ない。
- ・婦人消防協力隊は37団体だが、その内2団体は休んでいる。
- ・ボランティアであるため予算が限られている。
- ・ボランティアのため予算が少なく、活動が制限されてしまう。
- ・婦人消防協力隊には報酬がない。
- ・出初式や行事に出た人は日当1,000円で、役員の手当はない。

PRや助成を

- ・婦人消防協力隊の活動にもっと補助や助成を。
- ・ボランティアでやっていることを皆に知ってほしい。
- ・婦人消防協力隊の活動をもっとPRしてほしい。

災害時の情報伝達

- ・災害に対応できるFMを開局してほしい。
- ・ケーブルテレビの告知放送がいいのではないかと。
- ・スマホで火災現場や消火栓の位置を確認できれば良い。
- ・各分団に携帯無線の配備を。
- ・災害時の連絡はメールが良い。
- ・災害時の情報伝達は、市民全体にメール配信はどうか。
- ・災害情報はメールで良いが、受信できない一人暮らしの高齢者には電話をかける。
- ・メールで、消防団員に危険な箇所へ行くよう指示。
- ・消防団の巡回は、ゆっくり回らないと聞き取れない。
- ・災害時には婦人消防協力隊が各家を回って安否確認をしたらいいと思う。
- ・伝言板や歩いて知らせるような原始的なやり方の方が伝わるのではないかと。
- ・婦人消防協力隊へは災害があっても連絡はない。地元の消防団が回って伝達してもらっている。

その他の意見

- ・消防団員の入団は地域のコミュニティカと比例している。
- ・大震災以降、消防団活動が見直されているが、ボランティアだけでは活動できない部分もある。
- ・女性団員がいる部の屯所のトイレを改良できないか。
- ・団員の防寒服が配備されていない。
- ・操法大会に対する考え方が、役員と団員とで差がある。
- ・婦人消防協力隊のいない地域で不都合はないのか疑問がある。
- ・一人住まいの高齢者宅に防災グッズを配布することはできないか。